

令和8年度 第1回名取市子ども読書活動推進協議会会議概要記録

○日時	令和8年5月29日(金) 午前10時30分～11時30分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(7名)	松本会長、猪狩委員、本望委員、尾形委員、永野委員、金野委員、栗山委員
○欠席者(3名)	佐藤委員、菅井委員、齋藤委員
○事務局出席者	鈴木教育長 大元生涯学習課長 熊谷課長補佐 工藤生涯学習・青少年係長 加藤図書館長 古瀬司書
○傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開 会 進行:熊谷補佐

2 挨拶 鈴木教育長

(挨拶終了後、教育長は別公務のため退席)。

会議成立の確認

名取市子ども読書活動推進協議会設置要綱第6条第2項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。

会議録作成の確認

会議録は要点筆記とし、事務局において作成することを確認。

また、会議録は一定の期間、市政情報コーナー及び市ホームページで公開されることを確認。

3 議 事 進行:松本会長

要綱第6条第1項により、松本会長が議長となり議事進行。

(1)名取市子ども読書活動推進計画(第二次)に関する取組状況について

資料に基づき事務局が説明(説明員:工藤)

松本会長

事務局から説明があったが、意見や質問等はあるか。

尾形委員

課題として予算不足を挙げる中でも、全体として非常に良く取り組まれていると感じた。各施設において様々な創意工夫が展開されており、特に、増田小学校における遊びの要素を取り入れたブックリストや「誰も借りたことがない本」のテーマ展示は、子ども達の興味を惹きつけられる良い発想である。

ボランティア人員確保の課題については、その魅力を効果的に発信することが重要だと考えている。

本望委員

ボランティアの実施について記載のない学校があるが、これは無回答だったという意味か。

なお、各地域において、高齢化による退会のほか、就業のため参画できないなどの理由からボランティア人員の確保が困難になり、活動継続が困難になってきているところが多い。所属サークルでは、図書館内にメンバー募集広告を出して人員の確保に努めている。

事務局

ボランティアの実施について記載のない学校は、回答において未記載だったものである。

⇒他に意見等なく承認

(2)名取市子ども読書活動推進計画(第三次)に関する取組予定について

資料に基づき事務局が説明(説明員:工藤)

松本会長

事務局から説明があったが、意見や質問等はあるか。

栗山委員

子どもの発達の流れを重視した取組内容が多く、家読をはじめとする家庭内の取組みに力が入れていると感じた。また、読書を通じて居場所づくりや地域交流に繋げている内容が多いことも評価できる。

金野委員

子ども目線を盛り込んでいる点が良いと感じた。特に、増田児童センターの子どもスタッフは、子どもの主体性を引き出す上で有意義である。また、施設側の視点では、図書館によるブックリストの提供は、選書業務の負担軽減や質の向上に大きく寄与するものとする。なお、市では出生時等に絵本をプレゼントする「なとりっこすくハピ応援事業」を行っているが、同事業を出発点として本計画に繋がることが望ましい。

永野委員

今年度から始まった保健センターの5歳児健診では、その待ち時間において絵本が実際に有効活用された。他の取組と併せて継続していきたいと考えている。

猪狩委員

昨年度の子ども読書活動についてのアンケート調査結果によると、名取市は県全体と比較して読書に親しむ機会が多い傾向にある。これは、学校司書間の継続的な情報共有や努力によって、学校での読書習慣の定着が寄与している成果と考えられる。今後は、就学前段階から他施設でも様々な取組があることについて学校側でも共有していきたい。

事務局

当該アンケート調査結果について補足説明がある。例年、前年度と比較できる形で資料を提供してきたが、令和7年度結果は、冊子「子ども読書活動推進計画(第三次)」の10～11ページに掲載する形とした。

⇒他に意見等なく承認

(3)その他

特になし

4. 閉会

以上